

小体研

Physical education

2022年(令和4年)

6月17日(金)

◇第1号◇

八重山地区小学校体育研究会広報誌

会長挨拶 磯部大輔 (石垣市立石垣小学校校長)

「ちいとおくたい」という音を聞いて、「知・徳・体」と頭の中で変換できる人は、きっと教員関係でしょう。教員以外にたずねてみると、「中華料理に使う野菜？」や「ゲームのキャラクターですか？」と答える人もいました。

私たちは、自分になじみがある言葉を、他の人も当然知っているだろうと考え使ってしまうことがあります。日々の授業でも、私たち教員が使っている言葉は子どもに誤差なく伝わっているのでしょうか。子どもに限らず、学ぶ人が「分からない」と感じるとき、指導者が使っている言葉の意味や発問の意図が分からない、ということが起きています。私たちは、学校の授業を参観し大人の立場で「いい授業」とか「分かる授業」と評価しますが、授業の良しあしをジャッジするのは、当事者である子どもたちです。



さて、私たちの八重山地区小体研。時代と共にメンバーも増え、学びもアップデートされてきています。昨年度までの積み上げを受け、今年度は評価の観点「思考・判断・表現」のうち、「表現」にスポットライトをあてて取り組んでいきます。指導者の意図がしっかりと子どもに伝わっているのか、そもそもその活動が子どもにとって有効であるのかを、子どもの「表現」から見取ることとなります。そして、その「表現」は体育ならではのアウトプットとなり、そこにタブレット活用が加わることで、大きな広がり期待されます。授業を見る視点は、「授業者を見る」から「子どもの姿を見る」ことが大前提。今年度は県大会での誌上発表がありますので、そこへ向けてもみなさんの英知を集めていきましょう。

ところで、小学校学習指導要領解説体育編に示された内容をもとに授業づくりのポイントをまとめた手引きをスポンツ庁が作成しています。今回の学習指導要領では、「投の運動(遊び)」を加えて指導できるようになりましたが、この手引きでは、的あて遊びや紙鉄砲を鳴らして遊ぶ運動遊びなどの例も挙げられています。これら資料は先生方にはあまり知られていません。ご存じのとおり、全教科を教える私たち小学校教員には時間がいくらあっても足りないのが現状。知っているのと知らないのとでは大きく違う有効な資料類を学校内へ紹介するのも私たち小体研の大きな役目の一つ。ぜひLINEやTeamsを最大限に活用して、情報発信もお願いします。

「知・徳・体」三つの中の一つが「体育」ではありますが、160年も前の教育論の分類にとどまることなく、子どもたちの「自律」に結びつく学びを研究していきましょう。

【令和4年度 八重山地区小学校体育研究会 役員】

相談役◇吉濱 剛 (新栄町こども園園長)	理事長◇兼松 宏史 (石垣市立宮良小学校教諭)
相談役◇漢那 憲吉 (漢那木工代表)	副理事長◇仲本 英男 (石垣市立平真小学校教諭)
相談役◇黒島 一哉 (教員採用試験対策講座塾長)	事務局◇大城 良太 (石垣市立大浜小学校教諭)
相談役◇佐事 安弘 (竹富町教育委員会教育長)	事務局◇入波平 信吾 (石垣市立登野城小学校教諭)
相談役◇宮良 勝也 (石垣青少年の家)	会計◇木本 由和子 (竹富町立大原小学校教諭)
相談役◇前三盛 敦 (石垣市教育委員会学校教育課指導課長)	会計◇金城 梢 (石垣市立明石小学校教諭)
参与◇上原 太郎 (石垣市教委員会学校教育課指導係長)	会計◇下地 千佳子 (竹富町立黒島小学校教諭)
参与◇高木 健一郎 (与那国町教育委員会教育課長)	監査◇小林 弘樹 (石垣市立石垣小学校教頭)
参与◇花城 正憲 (県教育庁義務教育課指導主事)	監査◇半嶺 当陽 (県教育庁八重山教育事務所指導主事)
参与◇田代 和真 (県教育庁八重山教育事務所社会教育主事)	各部会統括◇金城 一機 (石垣市立大浜小学校教諭)
参与◇新城 哲史 (石垣市教育委員会学校教育課指導主事)	(八重山地区体育科指導コーディネーター)
参与◇伊波 勇史 (石垣市教育委員会学校教育課指導主事)	運動領域担当◇仲本 英男 (石垣市立平真小学校教諭)
会長◇磯部 大輔 (石垣市立石垣小学校校長)	保健領域担当◇入波平 信吾 (石垣市立登野城小学校教諭)
副会長◇新垣 三貴子 (竹富町立大原小学校教頭)	評価研究担当◇兼松 宏史 (石垣市立宮良小学校教諭)
副会長◇花城 昌義 (石垣市立新川小学校教頭)	広報◇伊藤 真哲 (石垣市立登野城小学校教諭)
副会長◇宮良 善起 (石垣市立登野城小学校教頭)	

「体育学習が未来を創る！今、八重山小体研が熱い！

がっちりスクラム！やいま体育！」

